

(別表第1の4)

事業所名 グループホーム 媛の華(1F)

作成日: 平成23年12月14日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	33	利用者が重度化するに伴い、ホームでターミナルを望まれる利用者(ご家族)も現れ、より専門的な医療的知識・痰の吸引等の医療行為が必要とされる。	ターミナルケアの質の向上	①ターミナルケアについての研修 ・看取りの指針、流れ、対応について ・痰の吸引等の医療行為(介護職員に許される範囲) ②現在進行中のターミナルケアからのフィードバック ・利用者の状態の変化、ご家族の心境の変化等を、ケアの内容や指針、手続き(書類関係等)の見直しへ繋げる	6 か月	看取り介護実施ご、職員会議で評価し合い、見直しへ繋げた。運営推進会議にてご家族様にも参加いただき、取り組みを発表した。
2					か月	
3					か月	
4					か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

(別表第1の4)

事業所名 グループホーム 媛の華(2F)

目標達成計画

作成日: 平成23年12月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	43	便秘で下剤を使わないと排泄が困難な利用者が多い	なるべく薬に頼らない自然な排泄を目指す	①生活習慣と食生活の見直し。 ②便秘を解消するための様々な方法を行い、個別の排泄パターンを掴む。	6 か月	①起床してすぐに冷たい牛乳やお茶、野菜ジュースを飲んでいただき、朝食もしっかり摂っていただいている。また、献立に食物繊維を豊富に取り入れたところ、排便回数が増え、自然排便に繋げることができている。 ②朝、冷たい飲み物を飲むことで、以前便秘気味であった方も、下剤を服用はしているものの、以前と比べると毎日排便が見られるようになった。 ③排便の兆候をしることで、以前は便失禁が見られた利用者も、現在では早めのトイレ誘導とパターン把握により、便失禁を減らすことができている。
2					か月	
3					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。